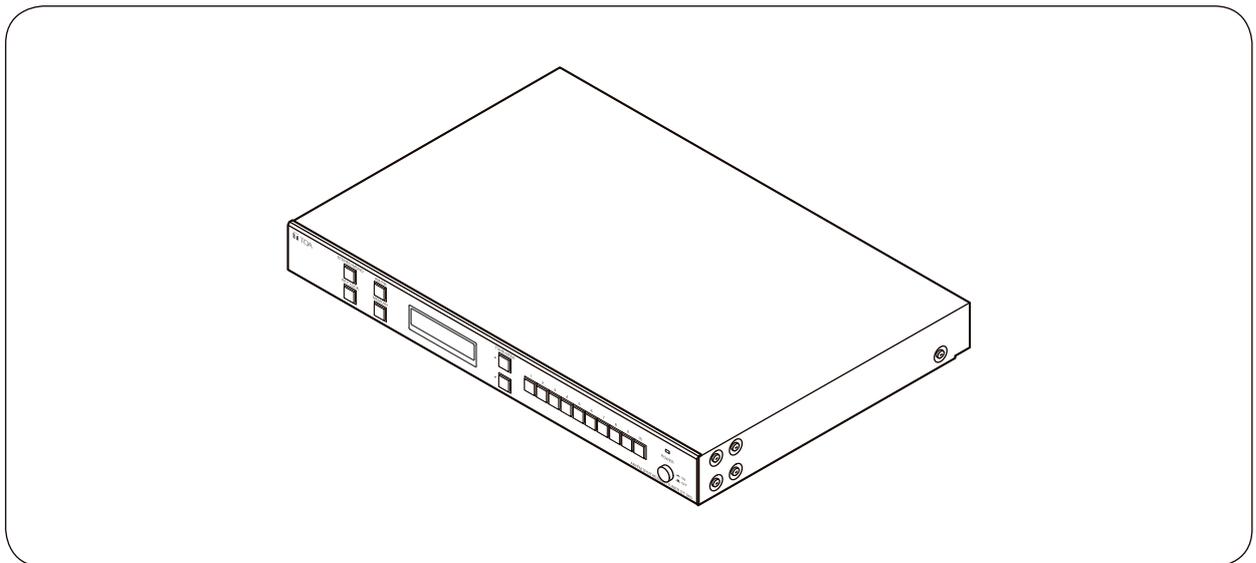


AM/FM ラジオチューナー

DT-940



目次

安全上のご注意	2	プリセット周波数の呼び出し	10
概 要	5	キーロックのしかた	11
各部の名称とはたらき	5	キーロックをするとき	11
前面	5	キーロックを解除するとき	11
後面	6	接続のしかた	11
ラジオ受信のしかた	7	電源およびアンプの接続	11
オートチューニングモードの場合	7	AM アンテナの接続	12
マニュアルチューニングモードの場合	8	FM アンテナの接続	14
受信周波数のメモリーのしかた	8	ラックに取り付けるとき	15
マニュアルプリセットの場合	9	仕 様	16
オートプリセットの場合	9	付属品	16
		別売品	16

このたびは、TOA AM/FM ラジオチューナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、未長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号	
				
分解禁止	禁止	接触禁止	強制	電源プラグを抜く



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

落雷防止の対策をする

避雷針から5 m以上離し、避雷針の保護範囲(45°以内の角度)に取り付けるなど落雷を防止する対策をしてください。
落雷により、火災・感電・けがの原因となります。



強制

屋外に設置しない

本機は、屋内専用品です。
屋外に設置すると、部品の劣化により、機器が落下して、けがの原因となります。
また、雨などがかかると、感電の原因となります。



禁止



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき



電源プラグを抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグやアンテナ線にはさわらないでください。感電の原因となります。



接触禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜け

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

工事は販売店に相談する

アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。適切な工事を行わないと、アンテナが倒れて、感電・けがの原因となることがあります。



強制



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ラックに取り付けるときの注意

次のことを必ずお守りください。

守らないと、火災・けがの原因となることがあります。

- ラックは安定したところに据え付け、アンカーボルトなどで転倒・移動防止の処置を行うこと。
- 電源コードをコンセントに接続するときは、コンセントの許容電流を超えないこと。
- 別売のラックマウント金具 MB-15B に付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。他のラックには使用しないでください。



強制

使用するとき

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

AC アダプターは付属品を使用する

付属品以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。



強制

定期的に内部の掃除をする

内部の掃除については、販売店にご相談ください。

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。



強制

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。

また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



強制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

概要

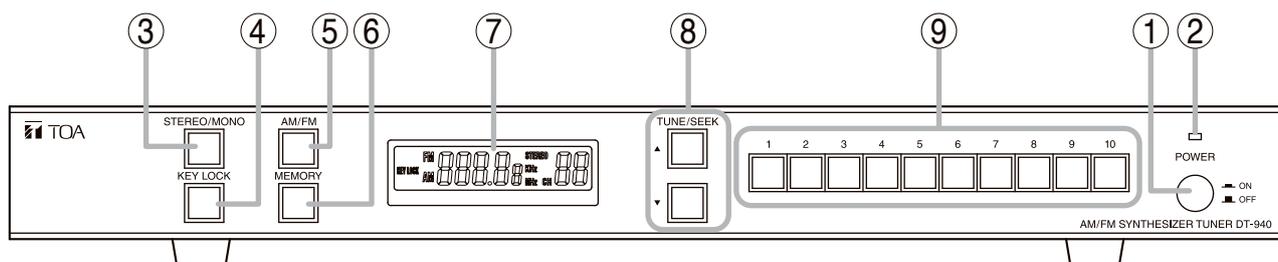
AM と FM 放送が受信できるラジオチューナーです。

AM、FM 各 20 チャンネルをメモリーでき、ワンタッチで選局ができます。

また、別売のラックマウント金具 MB-15B を使用して、EIA 規格のラックに取り付けることができます。

各部の名称とはたらき

[前面]



1. 電源スイッチ [ON、OFF]

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

メ モ

電源を切った状態でも、受信周波数は保持されます。

2. 電源表示灯 [POWER] (緑)

電源を入れると点灯します。

3. ステレオ／モノラル切換キー [STEREO/MONO]

ステレオ放送受信時、押すたびにステレオとモノラルが切り換わります。

(P. 7 「ラジオ受信のしかた」)

ご注意

プリセット周波数で受信している場合、このキーを押すとプリセットが解除され、プリセットチャンネル表示が消えます。

4. キーロックキー [KEY LOCK]

電源スイッチとキーロックキー以外の操作を無効にすることができます。

長押しするたびに、キーロックとキーロック解除が切り換わります。

キーロックされると液晶表示器に表示されます。

(P. 11 「キーロックのしかた」)

5. AM/FM バンド切換キー [AM/FM]

受信するバンドを切り換えます。押すたびに AM 放送と FM 放送が切り換わります。

(P. 7 「ラジオ受信のしかた」)

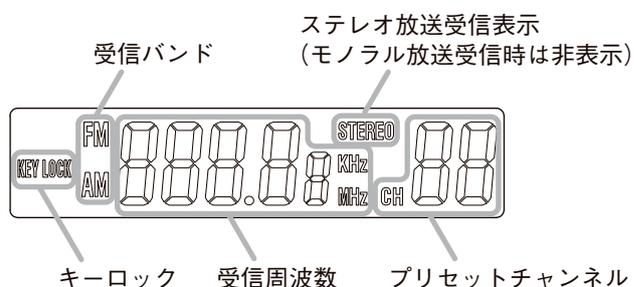
6. メモリーキー [MEMORY]

受信周波数を、プリセットメモリーに記憶させるときに使用します。

(P. 8 「受信周波数のメモリーのしかた」)

7. 液晶表示器

受信バンド、受信周波数、プリセットチャンネルなどを表示します。



8. チューニングキー [TUNE/SEEK]

受信周波数を変更するときを使用します。

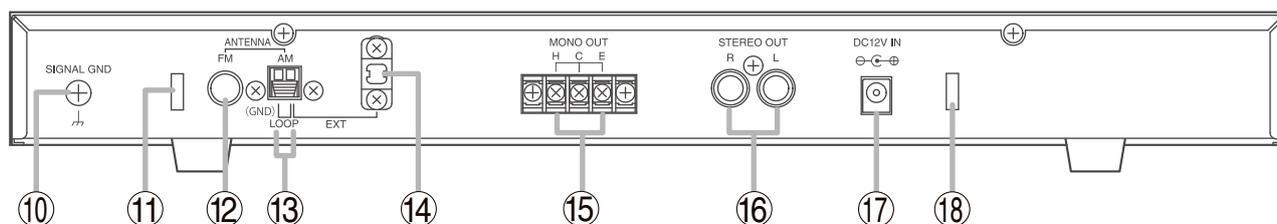
(P. 7 「ラジオ受信のしかた」)

9. プリセットメモリー入力キー [1～10]

プリセットメモリーの記憶・呼び出しに使用します。

(P. 8 「受信周波数のメモリーのしかた」、P. 10 「プリセット周波数の呼び出しのしかた」)

[後面]



10. 機能アース端子 [SIGNAL GND]

本機に外部機器を接続してノイズが多いときは、この端子と外部機器の機能アース端子を接続してください。ノイズが少なくなることがあります。

※ 安全アースではありません。

11. コードクランプ

付属のFMワイヤーアンテナ使用時に、アンテナ線が引っ張られてFMアンテナが抜け落ちないように、アンテナ線を巻き付けます。

(☞ P. 14 「FMアンテナの接続」)

12. FMアンテナ端子 [ANTENNA FM]

F型接栓、75Ω、不平衡

FMアンテナの接続端子です。

(☞ P. 14 「FMアンテナの接続」)

13. AMアンテナ端子 [ANTENNA AM、LOOP]

プッシュターミナル、平衡

AMアンテナの接続端子です。

(☞ P. 12 「AMアンテナの接続」)

14. 同軸ケーブル固定金具 [EXT]

同軸ケーブルを固定するとき 사용합니다。

(☞ P. 13 「同軸ケーブルを使用するとき」)

15. モノラル出力端子 [MONO OUT]

受信信号のオーディオ出力端子です。

H、Cに出力ケーブルを接続してください。

出力にノイズがのる場合には、シールド線を使用し、シールドをEに接続してください。

16. ステレオ出力端子 [STEREO OUT]

受信信号のオーディオ出力端子です。(RCAピンジャック)

出力ケーブルを接続してください。

17. ACアダプター入力端子 [DC 12V IN]

付属のACアダプターを接続します。

(☞ P. 11 「電源およびアンプの接続」)

18. コードクランプ

ACアダプターのプラグが抜け落ちないように、プラグの近くのコード部分を挿入します。

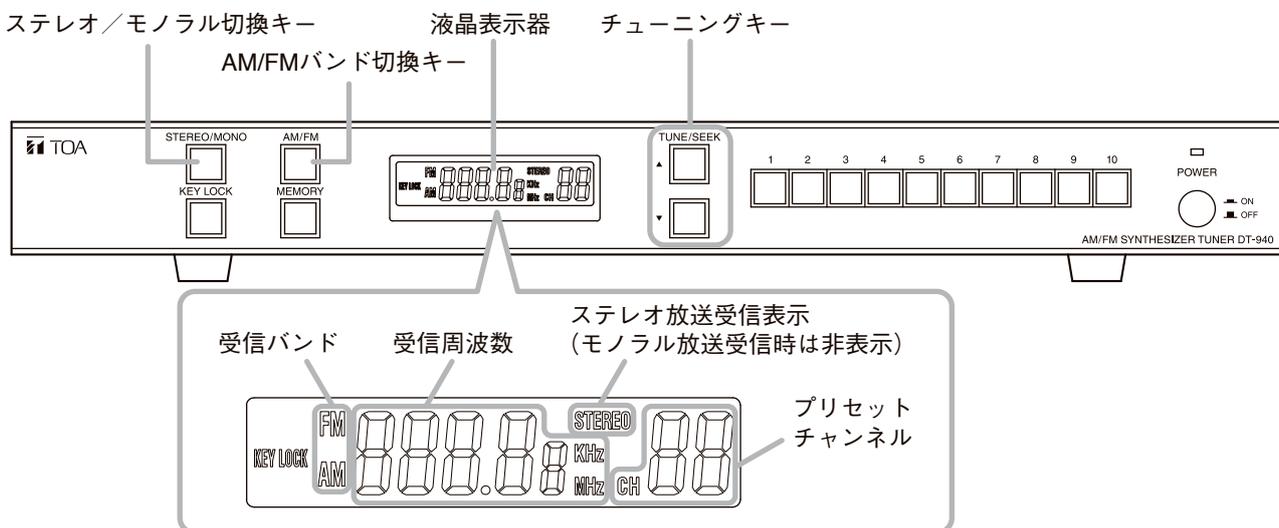
(☞ P. 11 「電源およびアンプの接続」)

ラジオ受信のしかた

ラジオを受信するには、次の2つのモードがあります。

- オートチューニングモード : 受信周波数を自動で検出し、選択できます。
- マニュアルチューニングモード : 周波数をステップごとに変更することにより受信周波数を選択できます。

[操作するキー]



■ オートチューニングモードの場合

- 1** AM/FM バンド切換キーを押し、AM 放送または FM 放送を選択する。
選択したバンドが液晶表示器に表示されます。
- 2** チューニングキー(▲ または ▼)を約2秒の長押しを何回か繰り返し、受信周波数を選択する。
チューニングキーを2秒以上押し、自動的に周波数が変化し、放送を受信するとその周波数で止まります。
このとき、メモリーされている周波数であれば、液晶表示器にプリセットチャンネルが表示されます。
周波数が止まった状態で、もう一度チューニングキーを2秒以上押し、次に受信できる周波数を検索します。
これを繰り返して、希望の周波数を選択してください。
- 3** ステレオ/モノラル切換キーを押し、受信モードを選択する。
ステレオ放送を受信している場合、押すたびに液晶表示器のステレオ放送受信表示の点灯と消灯が切り換わります。
ステレオ放送の受信感度が低いときは、モノラル放送で受信され、ステレオ放送受信表示は非表示のままになります。

■ マニュアルチューニングモードの場合

- 1** AM/FM バンド切換キーを押し、AM 放送または FM 放送を選択する。
選択したバンドが液晶表示器に表示されます。
- 2** チューニングキー（▲ または ▼）を何回か押し、受信周波数を選択する。
▲ キーを押すと、AM 放送は 9 kHz ステップ、FM 放送は 100 kHz ステップで受信周波数が上がります。
▼ キーを押すと、AM 放送は 9 kHz ステップ、FM 放送は 100 kHz ステップで受信周波数が下がります。
- 3** ステレオ／モノラル切換キーを押し、受信モードを選択する。
ステレオ放送を受信している場合、押すたびに液晶表示器のステレオ放送受信表示の点灯と消灯が切り換わります。
ステレオ放送の受信感度が低いときは、モノラル放送で受信され、ステレオ放送受信表示は非表示のままになります。

受信周波数のメモリーのしかた

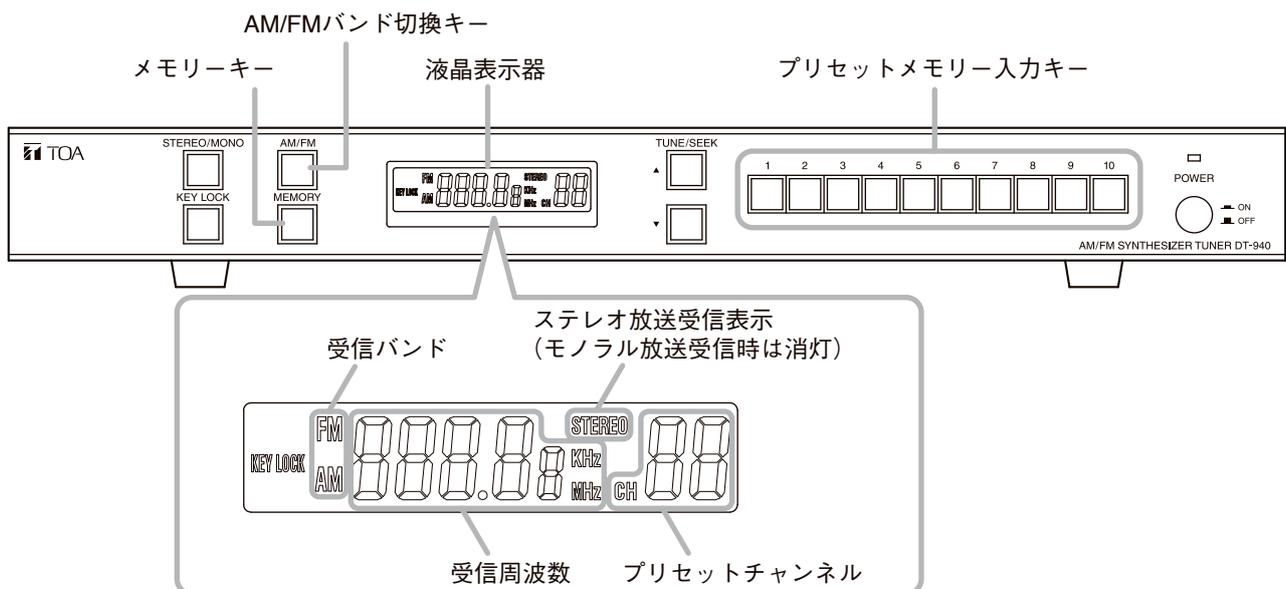
受信周波数は、マニュアルプリセット、オートプリセットの2つの方法により、メモリーに記憶させることができます。

AM、FM 各 20 チャンネル（CH1 ～ CH20）をメモリーできます。

メモ

ステレオ放送受信またはモノラル放送受信の受信状態もメモリーに記憶されます。

[操作するキー]



■ マニュアルプリセットの場合

1 記憶させたい周波数を受信する。
受信のしかたは、オートチューニングまたはマニュアルチューニングのいずれかで行ってください。
( P. 7)

2 この状態で、メモリーキーを押す。
液晶表示器のプリセットチャンネル表示「CH --」が点滅します。

3 記憶させたいチャンネル番号を、プリセットメモリー入力キーで選択する。
(例) CH1 の場合 : 1 キーを押す。
CH11 の場合 : 10 キーを押し、続けて 1 キーを押す。
CH20 の場合 : 10 キーを続けて 2 回押す。

液晶表示器のプリセットチャンネル表示が点灯状態になると、メモリープリセットが完了です。

■ ご注意

- チャンネル番号を入力しない状態で 5 秒間放置すると、以前の状態に戻ります。
- CH11 ~ 20 を選択するとき、10 キーを押した後、続けて次のキーを押さないと、10 番にメモリーされてしまいます。

■ オートプリセットの場合

1 AM/FM バンド切換キーを押し、AM 放送または FM 放送を選択する。
選択したバンドが液晶表示器に表示されます。

2 メモリーキーを約 3 秒長押しする。
液晶表示器のプリセットチャンネル表示「CH --」が点滅します。

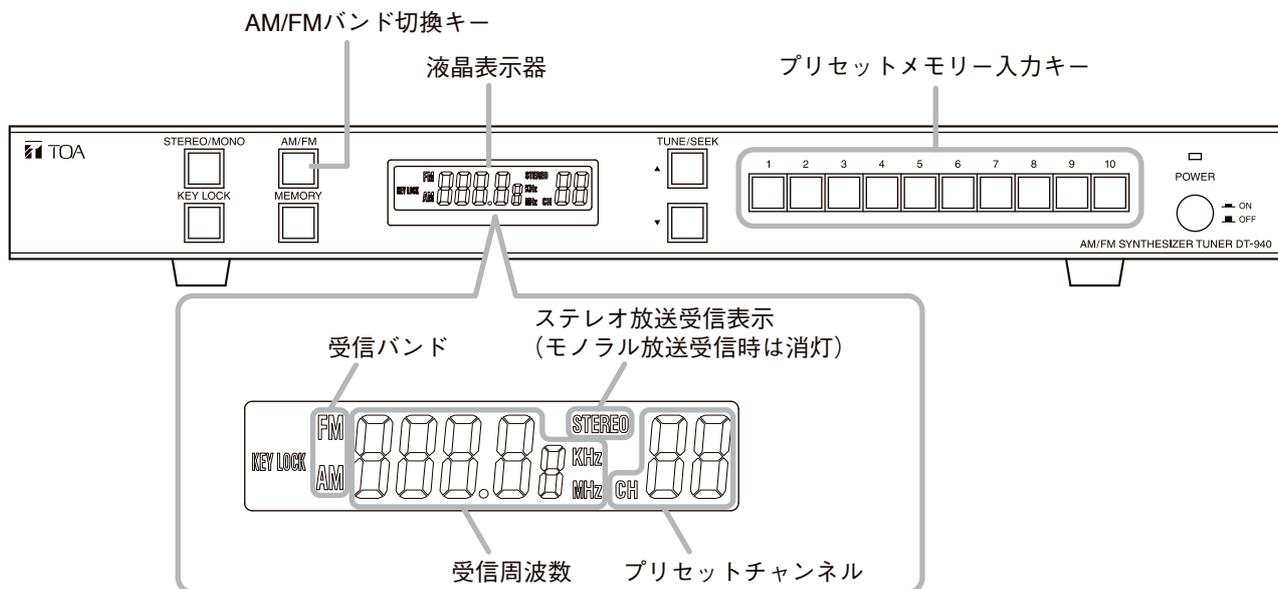
3 「CH --」が点滅している状態で、メモリーキーを離す。
自動的に受信可能な周波数がプリセットメモリーに順次記憶されていきます。

メ	モ
---	---

プリセットメモリーは、自動的に周波数の低い順から AM、FM それぞれ CH1 ~ CH20 に割り振られます。

プリセット周波数の呼び出しかた

[操作するキー]



1 AM/FM バンド切換キーを押し、AM 放送または FM 放送を選択する。
選択したバンドが液晶表示器に表示されます。

2 プリセットメモリー入力キーを押し、呼び出すプリセットチャンネルを選択する。
(例) CH1 の場合 : 1 キーを押す。
CH11 の場合 : 10 キーを押し、続けて 1 キーを押す。
CH20 の場合 : 10 キーを続けて 2 回押す。

選択したチャンネル番号と受信周波数が液晶表示器に表示されます。

ご注意

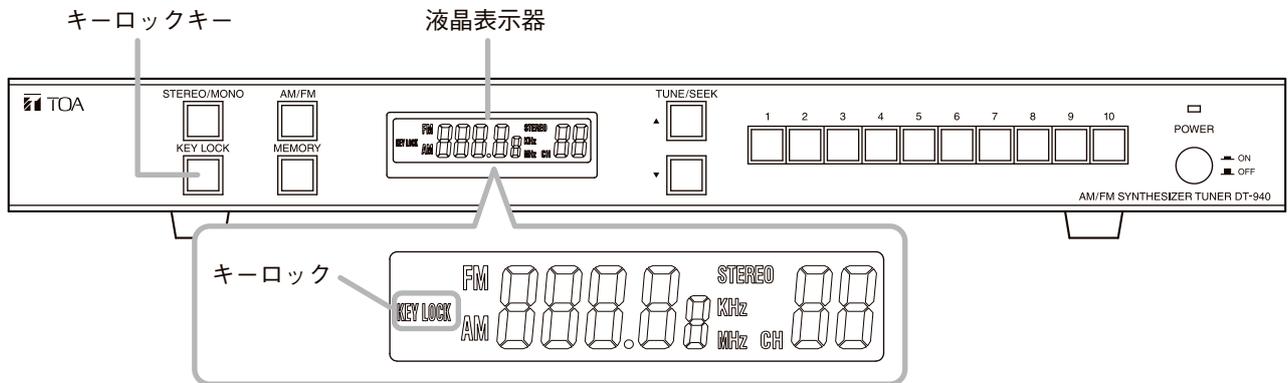
- CH10 を呼び出す場合のみ、チャンネル番号と受信周波数が液晶表示器に表示されるまで、1 秒程度かかります。
- ステレオ放送受信としてプリセットチャンネルに記憶されていても、受信感度が低い場合はモノラルで受信されます。

キーロックのしかた

キーロックをすることにより、電源スイッチとキーロックキー以外の操作を無効にすることができます。

メ モ

電源を切っても、キーロック状態は保持されます。



■ キーロックをするとき

手順：「KEY LOCK」が表示されていないときに、キーロックキーを約3秒長押しする。

液晶表示器の「KEY LOCK」が点灯し、キーロックがされます。

■ キーロックを解除するとき

手順：「KEY LOCK」が表示されているときに、キーロックキーを約3秒長押しする。

液晶表示器の「KEY LOCK」が消灯し、キーロックが解除されます。

接続のしかた

ご注意

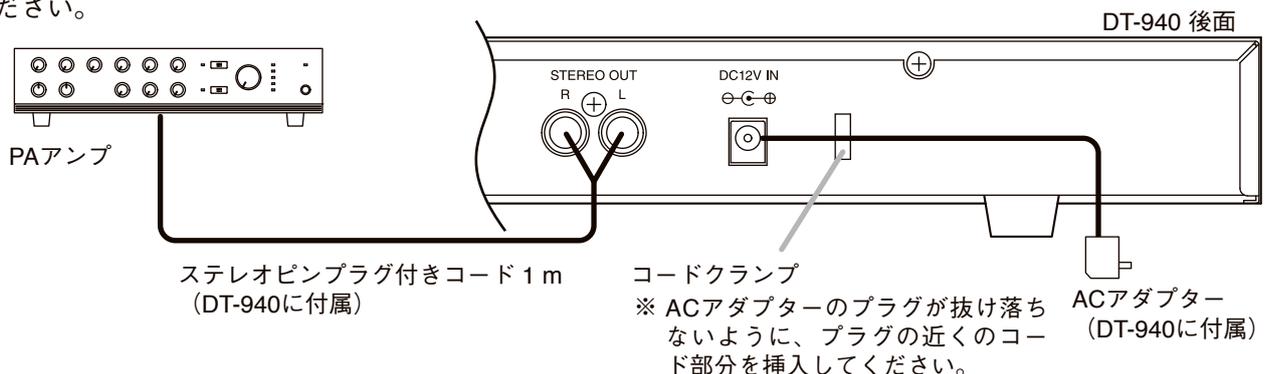
- 機器は電源コンセント近くに配置し、電源プラグ（遮断装置）へ容易に手が届くようにしてください。
- 本機は壁などから 100 mm 以上のスペースを空けて設置してください。

■ 電源およびアンプの接続

本機を外部アンプに接続するときは、付属のステレオピンプラグ付きコードを使ってください。

ご注意

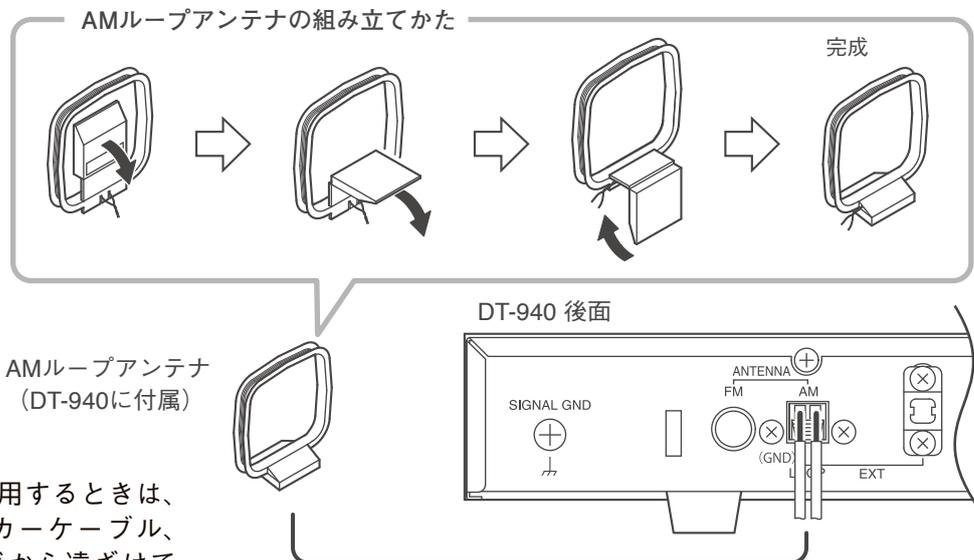
アンプと組み合わせて使用する場合は、アンプの放熱効果を妨げないように、本機はアンプの下に設置してください。



■ AM アンテナの接続

● 付属の AM ループアンテナを使用する場合

付属の AM ループアンテナを AM アンテナ端子に接続します。
受信状態が良好な場合は、付属の AM ループアンテナを使用して受信することができます。
AM 放送を受信しながらループアンテナの向きを調節してください。



ご注意

- AM ループアンテナを使用するときは、電源ケーブル、スピーカーケーブル、オーディオケーブルなどから遠ざけてください。
- アンテナ端子からアンテナ線の心線が数ミリ見えるような長さにして接続してください。アンテナ線の心線が長い場合は、適切な長さにカットしてご使用ください。

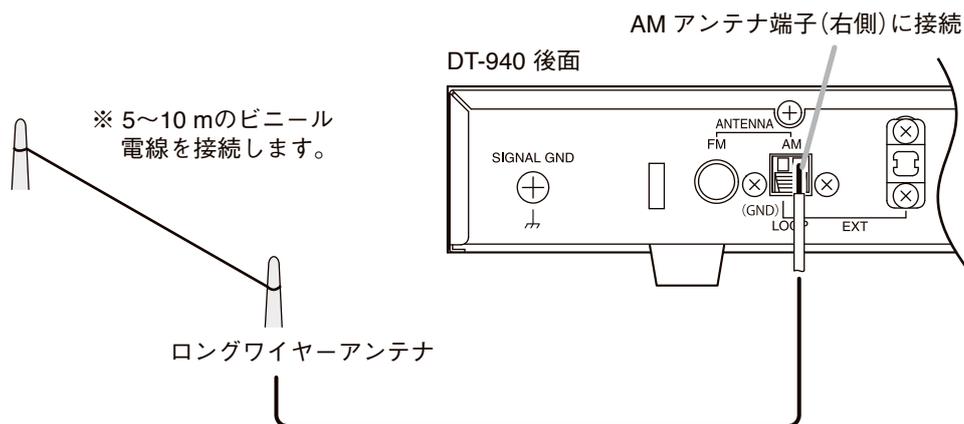
● 外部アンテナを使用する場合

付属の AM ループアンテナで良好に受信できない場合は、外部に、市販の AM アンテナかロングワイヤーアンテナを接続します。単線または同軸ケーブルの心線を AM アンテナ端子 (右側) に接続します。
本機を電波の弱い地域や鉄筋コンクリートビルの中で使用するときには、外部にロングワイヤーアンテナを設置することをお勧めします。ロングワイヤーアンテナを使用することにより、付属のループアンテナよりも弱い電波を受信することができます。ロングワイヤーアンテナは、ビニール電線を下図のように 5 ~ 10 m 広げて使用します。

ご注意

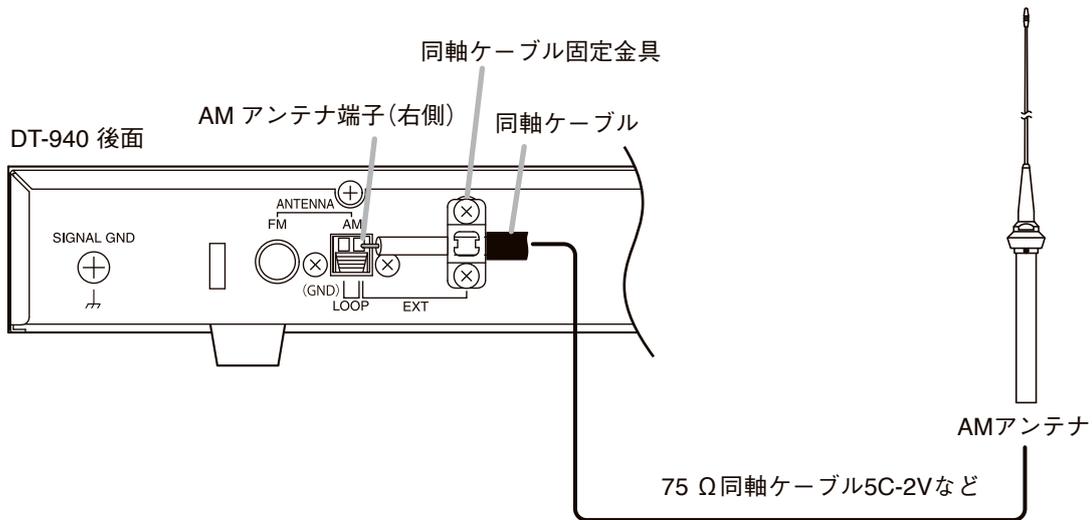
- 外部アンテナは、屋上などの見通しの良い場所に設置してください。
ビルとビルの間などに設置した場合は、十分に感度を得ることができません。
- アンテナは、壁などの電波を遮断するものや金属などから 30 cm 以上離して設置してください。

[単線を使用するとき]



[同軸ケーブルを使用するとき]

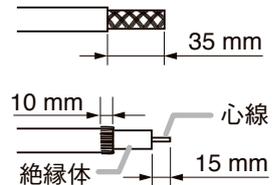
3C-2V または 5C-2V の同軸ケーブルを使用し、ケーブルの先端を処理して、AM アンテナ端子 (右側) に接続します。



1 同軸ケーブルの先端を処理する。

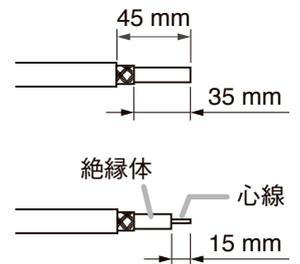
1-1 3C-2V を使用するとき

- (1) ケーブル外被を先端から 35 mm のところまで取り除く。
- (2) シールドを折り返してケーブルにかぶせ、10 mm にカットする。
- (3) 絶縁体を先端から 15 mm のところまで取り除く。



1-2 5C-2V を使用するとき

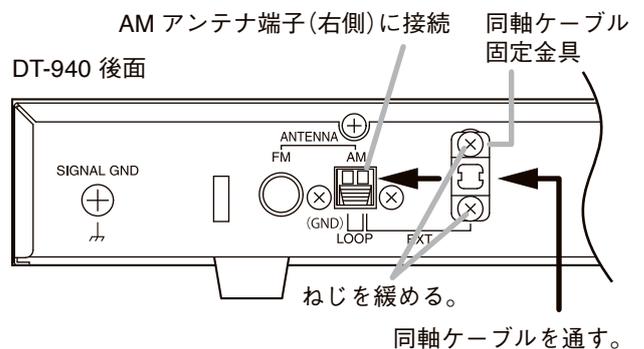
- (1) ケーブル外被を先端から 45 mm のところまで取り除き、シールドを先端から 35 mm のところまで取り除く。
- (2) 絶縁体を先端から 15 mm のところまで取り除く。



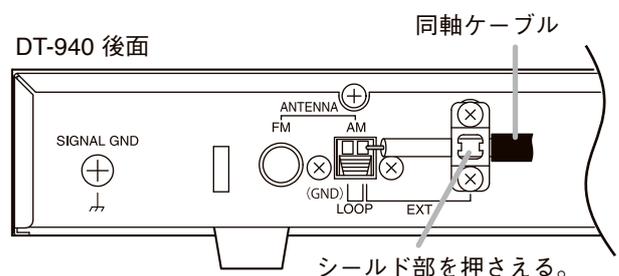
2 同軸ケーブル固定金具のねじ 2 本を緩め、同軸ケーブルのシールド部を同軸ケーブル固定金具で押さえ、AM アンテナ端子 (右側) に心線を接続する。

ご注意

ねじは 2 本とも取り外さず、緩めただけの状態
で配線してください。
外れてしまったときは、必ず元のねじを使用し
てください。

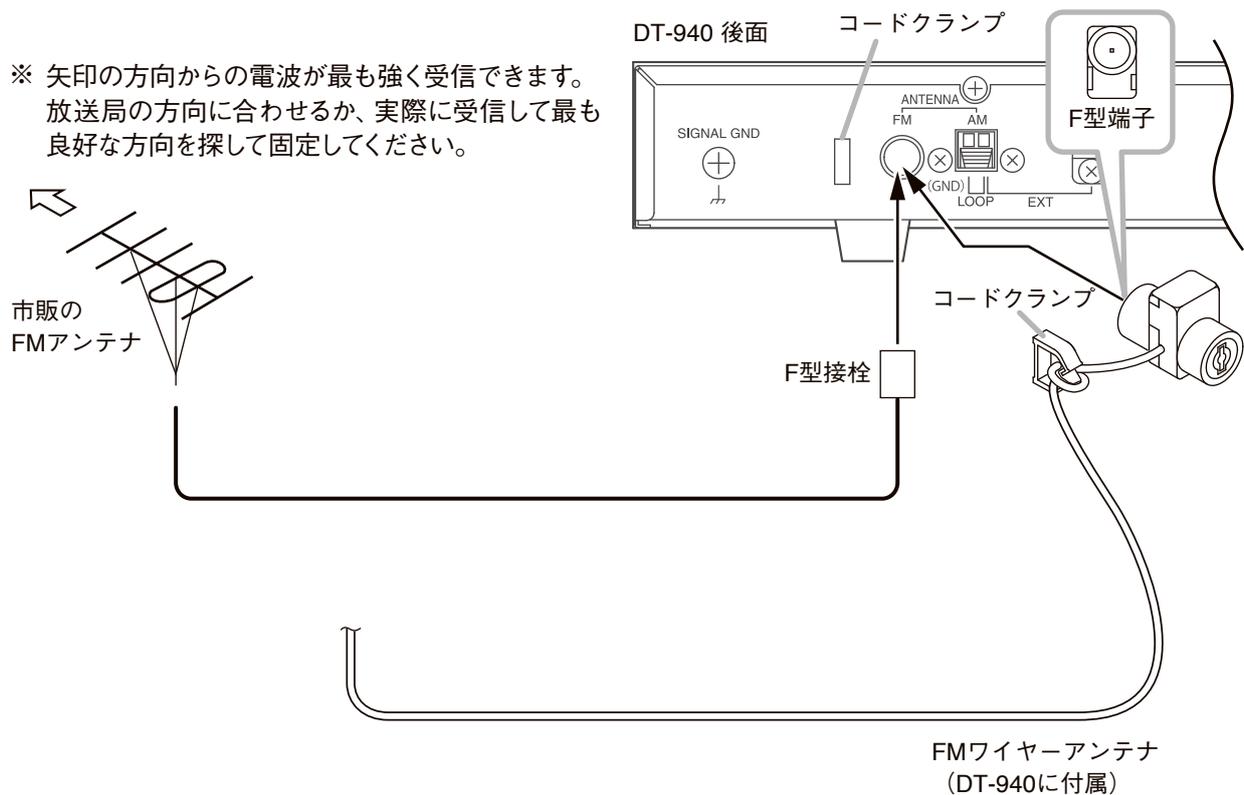


3 ねじ 2 本を締めて同軸ケーブルをしっかりと固定する。



■ FM アンテナの接続

付属の FM ワイヤアンテナまたは市販の FM アンテナを FM アンテナ端子に接続します。



ご注意

付属の FM ワイヤアンテナを使用するときは、アンテナ線が引っ張られて FM ワイヤアンテナが抜け落ちないように、上図のように、アンテナ線をコードクランプに巻き付けてください。

● 付属の FM ワイヤアンテナを使用する場合

付属の FM ワイヤアンテナの F 型端子を FM アンテナ端子に接続してください。

ご注意

アンテナは、まっすぐ伸ばして使用してください。また、金属物に近づけると感度が低下しますので、離して設置してください。

● 外部アンテナを使用する場合

付属の FM ワイヤアンテナで良好に受信できないときは、外部アンテナを接続します。

外部アンテナに 5C-2V などの 75 Ω 同軸ケーブルを使用するときは、F 型接栓を取り付けて接続してください。外部アンテナに 300 Ω フィーダー線を使用するときは、300 Ω -75 Ω 変換コネクターで F 型接栓に変換して接続してください。

メモ

電波の弱い地域や、車や高圧ケーブルなどによる電波障害の影響を受けて受信状態が悪い場合は、75 Ω の同軸ケーブルを使用してください。

ラックに取り付けるとき

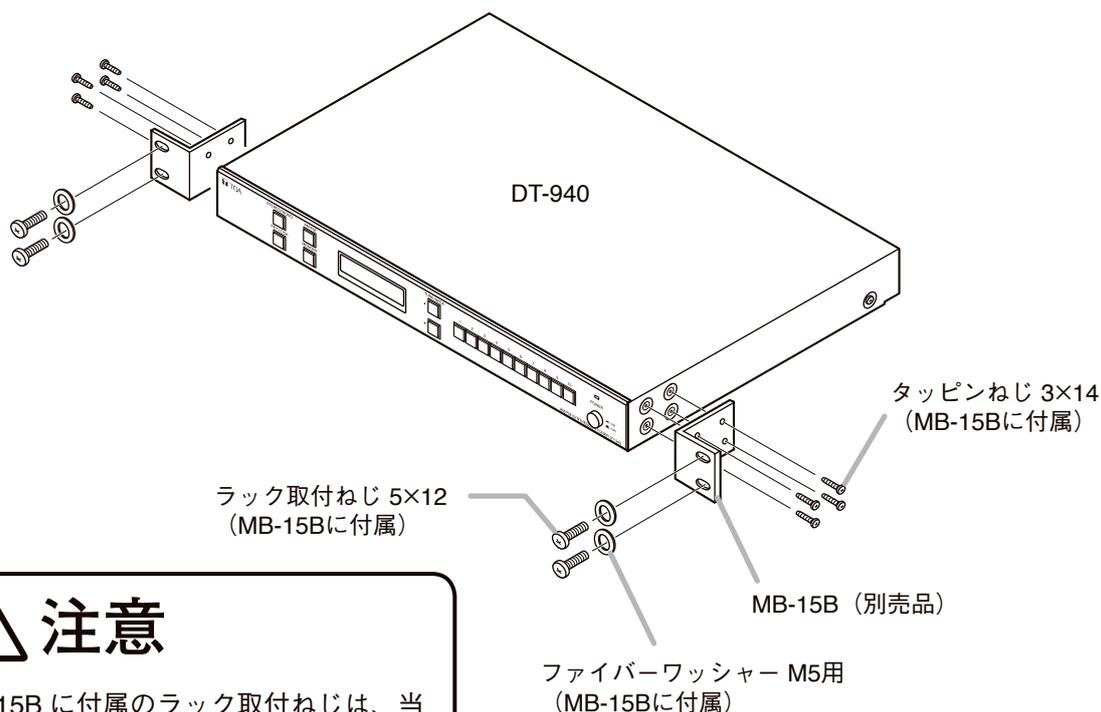
ラックに取り付けるときは、別売のラックマウント金具 MB-15B を使用してください。

※ 本機底面のプラスチック足（4個）を取り外してください。

ご注意

- 本機は熱を発生する製品より必ず下の位置に取り付けてください。また必要に応じて、その製品と本機との間にパーフォレイテッドパネルを設けてください。
- デジタルアンプを本機と同じラックに設置するときは、2U*以上離して取り付けてください。デジタルアンプを本機の直近に配置すると、ノイズが生じる可能性があります。

* 1U サイズ = 44.5 mm（基準サイズ）



注意

MB-15B に付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。
他のラックには使用しないでください。

仕 様

電 源	AC100 V、50/60 Hz (付属の AC アダプターから供給)
消 費 電 流	70 mA (付属の AC アダプター使用時)
受 信 周 波 数	AM : 522 ~ 1629 kHz (9 kHz ステップ) FM : 76 ~ 108 MHz (100 kHz ステップ)
ア ン テ ナ 入 力	AM : ループアンテナ (平衡) / 外部アンテナ (不平衡)、プッシュターミナル FM : 75 Ω (不平衡)、F 型接栓
音 声 出 力	ステレオ : -15 dB *、10 kΩ、不平衡、RCA ピンジャック モノラル : -10 dB *、10 kΩ、平衡、M3 ねじ端子、バリアー間隔 6.4 mm
メ モ リ - 局 数	AM、FM 各 20 局
使 用 温 度 範 囲	0 ~ 40°C
使 用 湿 度 範 囲	90% RH 以下 (ただし結露のないこと)
仕 上 げ	パネル : アルミ、ヘアライン、黒 (マンセル N1.0 近似色) ケース : プレコート鋼板、黒 (マンセル N1.0 近似色)
寸 法	420 (幅) × 50.8 (高さ) × 295.2 (奥行) mm
質 量	2.9 kg

* 0 dB = 1 V

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

AC アダプター (3 m)	1
ステレオピンプラグ付きコード (1 m)	1
AM ループアンテナ (屋内用、135 × 125 mm、リード線長 : 約 1.2 m) ...	1
FM ワイヤアンテナ (屋内用、エレメント線長 : 約 2.2 m)	1

● 別売品

ラックマウント金具 : MB-15B

アフターサービスについて

● 保証書について

保証書は販売店からお渡しします。必ず「販売店・購入日」など記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

無償修理の保証期間は、お求めの日から 1 年間です。(一部消耗品を除く)

● 修理を依頼される時

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お求めの販売店にご連絡ください。
※ 保証期間中の修理は保証書の規定に従って、お求めの販売店で無償にて修理をお受けいたします。

ご連絡していただきたいことは、お客様のご住所・お名前・電話番号、製品名・品番・購入日、故障または異常の状況 (症状)

※ 保証期間が過ぎている場合は、お求めの販売店にご相談ください。ご希望により有料で修理します。アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル (固定電話専用) 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9 : 00 ~ 17 : 00 (土日、祝日除く)	ナビダイヤル 0570-064-475 (有料)	
	FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社



133-07-00120-01